

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	尾道市立久保小学校	校長	豊田 浩矢	担当者名	内田 哲雄
-----	-----------	----	-------	------	-------

取組事例名 『令和3年度児童会役員選挙 選挙活動』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

共感的人間関係の育成
自己存在感の育成

取組のねらい

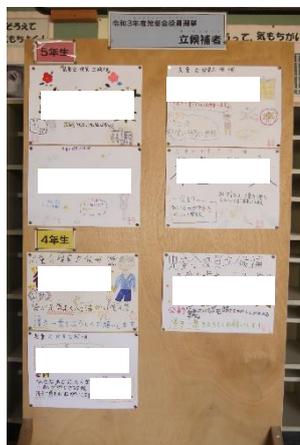
全児童が相手意識を持って学校生活を送ることができるようになるために，協力して諸問題を解決しようとする共感的な人間関係を育成する。

取組の具体的内容

- 児童会役員選挙公示（第4学年及び第5学年）
- 立候補者推薦者説明会
- 選挙運動2月8日（月）～2月16日（火）
- 立候補者・推薦者演説会及び投票
- 新児童会役員認証式
- 新児童会役員決意表明

児童会役員選挙運動の

ポスター →



取組の創意工夫

- 立候補者が選挙運動を行う際に，手作りのポスターやたすきを制作した。立候補者と推薦者だけでなく，クラスの仲間に声をかけ，協力して制作するようにした。
- 昨年度までは3年生以上に選挙権があったが，今年度から「全校児童が責任を持って役員を選ぶ」という観点から，全学年に選挙権を与えた。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，選挙運動期間中はZoomを利用し，給食時間に演説を行った。また，演説会及び決意表明（予定）では放送による演説を行った。

取組の成果と課題

- 協力してポスターやたすきを制作するなど，クラスの仲間が立候補者を応援し選挙運動を成功させようとする姿がみられた。
- 立候補者同士が，「(演説では) 声の出し方がよかったよ。」「よくがんばったね。」と認め合う姿がみられた。
- 選挙運動期間中，他学年の児童が，立候補者に「がんばってね。」と声をかける姿がみられた。
- △ 今年度から低学年にも選挙権を与えたが，立候補者の演説内容を理解することが難しく，学級担任がかみ砕いて説明する必要があった。低学年がイメージしやすいイラストを準備する，公約をわかりやすく言い換えたキャッチフレーズを考える等の工夫をする必要がある。